

# 畜産オンラインイベント ～JGAPとは～

2023年3月9日  
一般財団法人日本GAP協会

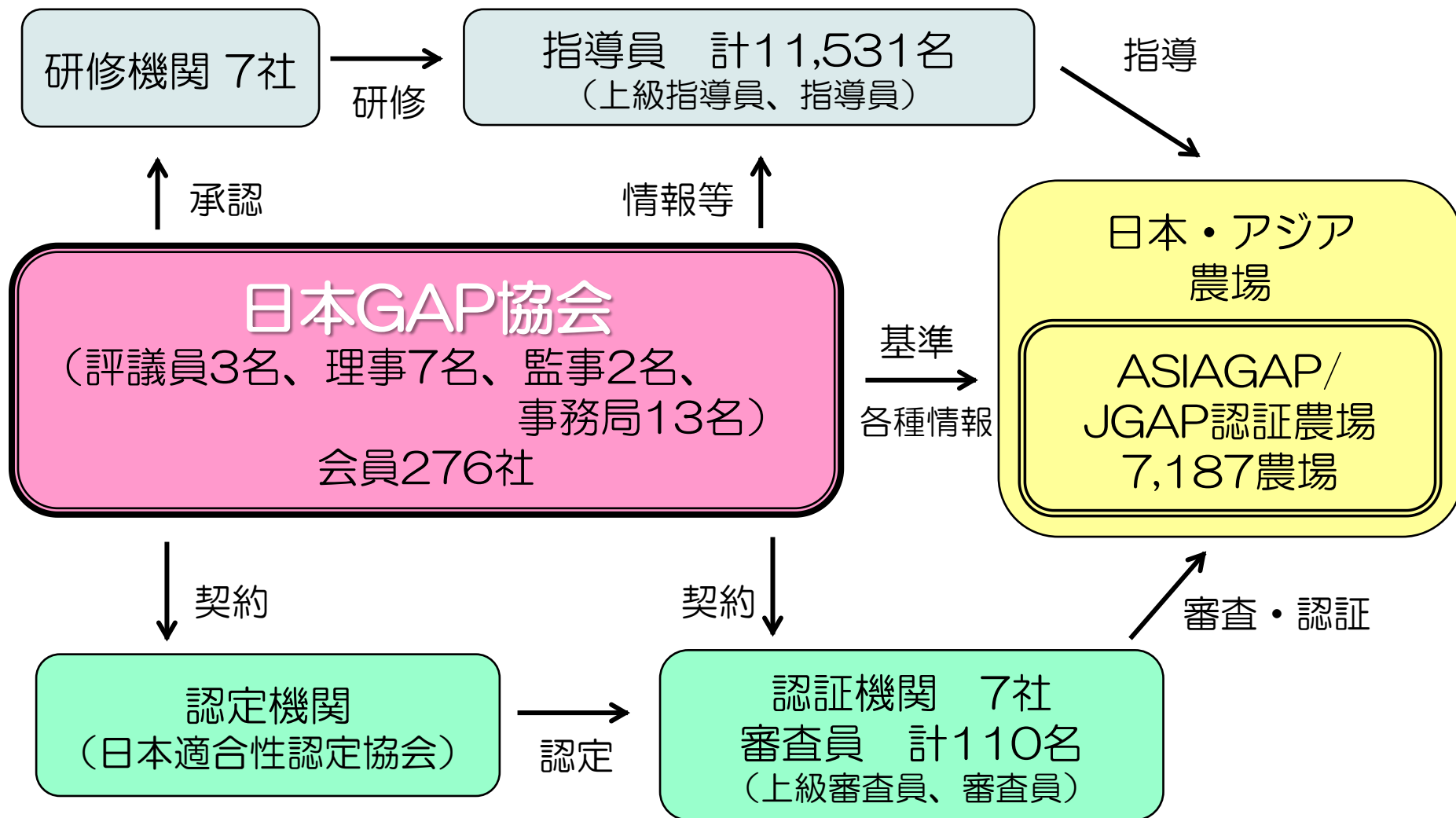
- ▶ 大切な人に、食べさせたい食べものとは…
  - 安全なもの
  - 美味しいもの
- ▶ 日本という国に生まれてきた  
私たちの幸運について
  - 国産品の信頼
  - たくさんの商品の中から  
「選び、買う」こと





## 一般財団法人 日本GAP協会

- ▶ JGAP、ASIAGAPの認証プログラムオーナー
- ▶ 「持続可能な農畜産物の供給の実現につながる」  
農林水産省推奨「GAP」の普及に取り組む。



注1：2022年3月末時点。青果物、穀物、茶、畜産の合計

注2：畜産の認証機関は日本GAP協会による認定

# G A P

Good Agricultural Practices  
良い 農業の 取り組み

『農業生産工程管理』とも言われます



R4年度GAP（農業生産工程管理）をめぐる情勢（農林水産省）より抜粋

- ▶ 農業を通して発生する工程の中で、記録⇒点検⇒評価のPDCAにより、改善を繰り返します。
- ▶ 食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保など、農業経営の改善や効率化に繋がります。

## 「GAP」の誕生

1990年代、ヨーロッパの大手スーパーマーケットが農家に対して農薬の使用基準など安全管理に細かい条件を求めました。農家にとっては、出荷先により基準が異なり、またスーパー側にとっては、その確認が大変だったため、ルールを標準化するために「GAP」が誕生しました。

## 第三者認証の意味

日本GAP協会が運営する「JGAP」は、  
第三者機関の審査により、適切に、  
GAPに取り組んでいることを客観的に証明するものです。

## 農場・生産者団体



**GAP** Good Agricultural Practice

適切な  
農場・団体管理

## 食肉処理場・乳業会社・輸送等



**GMP** Good Manufacturing Practice

適切な  
製造管理



**GDP** Good Distribution Practice

適切な  
物流管理

## 小売・外食産業等



**GRP** Good Retail Practice

適切な  
小売管理

消費者

フードチェーンの各段階で適切な管理が必要

食品事業者のHACCP義務化により取引先から生産者に適切な管理を求めてくることも

## ▶ JGAP

日本の標準的なGAP認証制度

JGAP(畜産)の対象となる家畜・畜産物



牛



生乳



豚



鶏



鶏卵

## 農場の持続性に向けた7つの取り組み

### 環境保全

地球温暖化対策、生物多様性や周辺環境への配慮、地域社会との共生などに取り組んでいます。



### 食品安全

生産工程を明確にし、食品安全の観点からリスク評価・対策に取り組んでいます。



### 労働安全

作業者の労働安全対策や労働事故の防止などに取り組んでいます。



### 農場管理

責任体制の見える化、機械・設備の点検・整備のルール化などに取り組んでいます。



### 人権の尊重

労働基準法等の法令の遵守、差別の禁止、作業者の健康管理などに取り組んでいます。



### 家畜衛生

家畜伝染病の発生予防や動物用医薬品の適切な使用・管理、飼料の安全確保などに取り組んでいます。

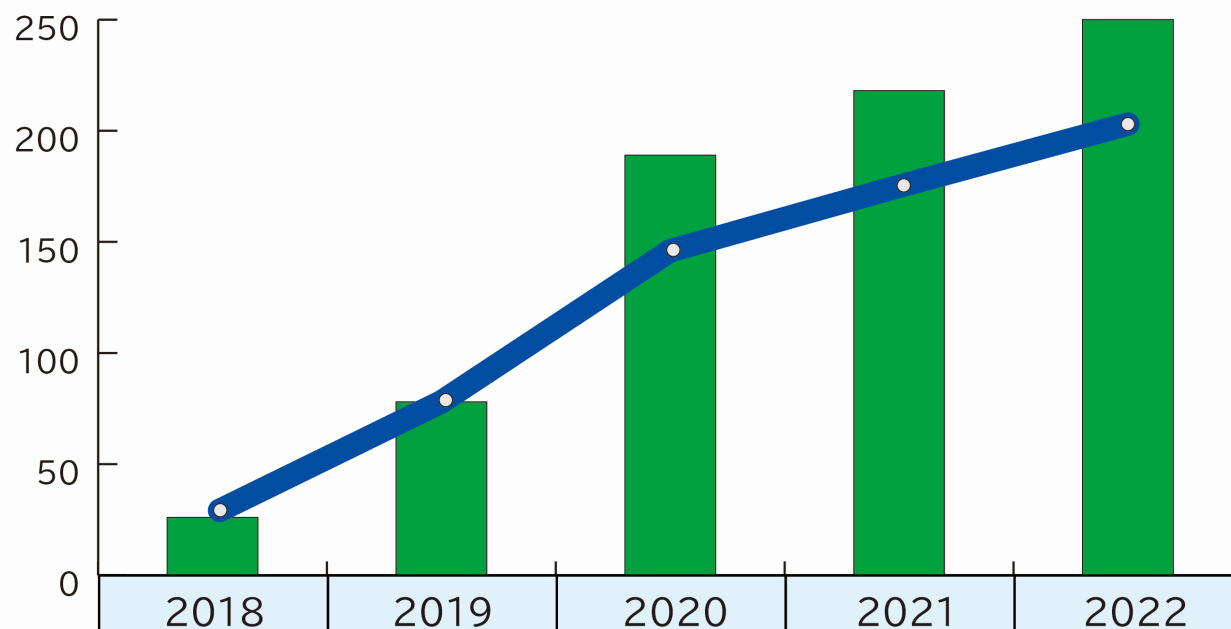




### アニマルウェルフェア

快適性に配慮した飼養環境の改善に取り組んでいます。



## JGAP 畜産は203 認証250農場（2022年3月末）



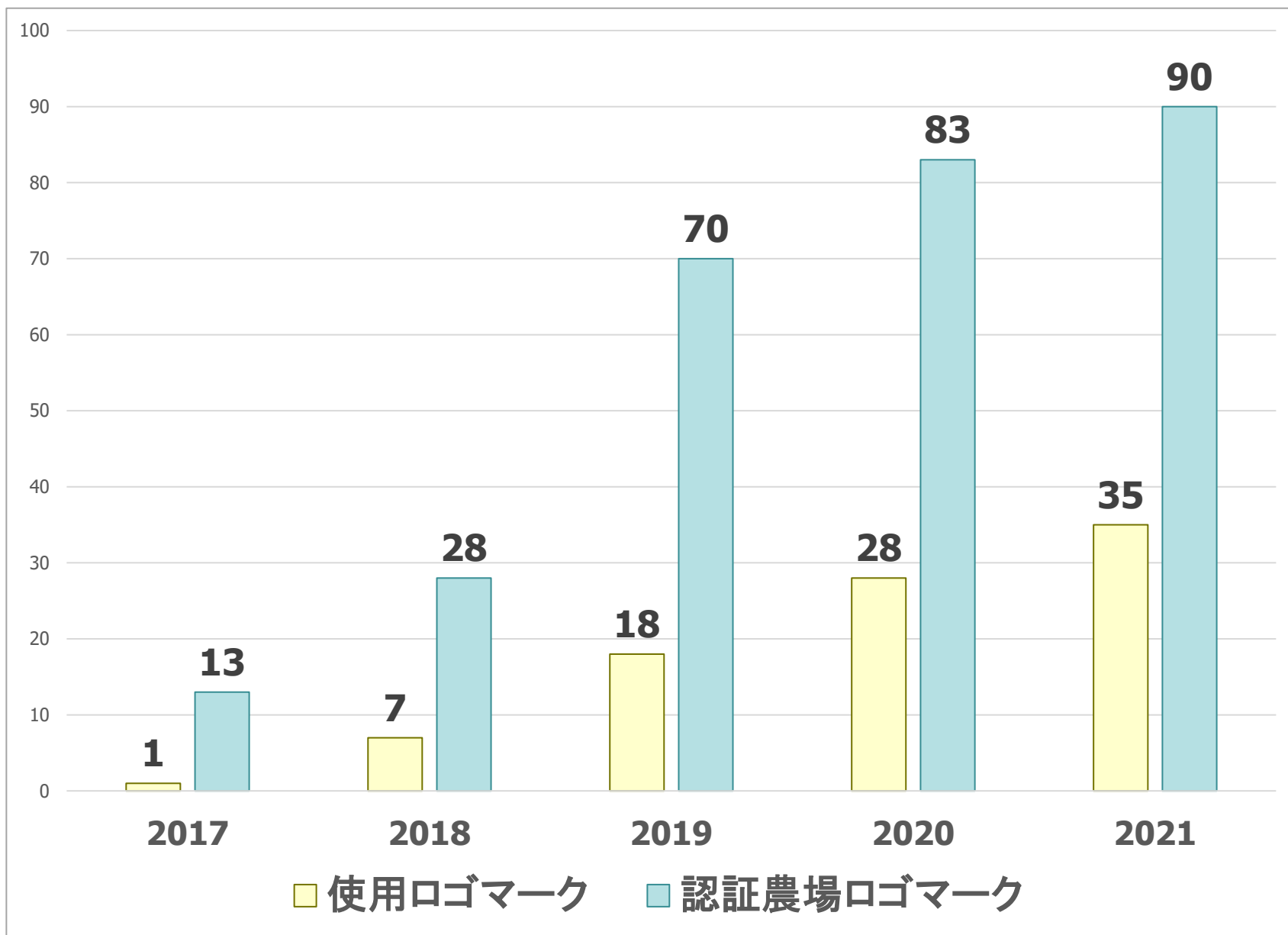
 認証数	26	78	146	175	203
 認証農場数	26	78	189	213	250

※各年3月末

2022年3月31日時点

認証農場 品目名	認証農場 収容頭羽数	全国飼養頭数	シェア
乳用牛・生乳	約20,900	1,371,000	1.52%
肉用牛	約108,500	2,614,000	4.15%
豚	約710,000	8,949,000	7.93%
採卵鶏・鶏卵	約33,618,000	180,096,000	18.67%
肉用鶏	約2,638,000	139,230,000	1.89%

\*全国飼養頭数は2022年2月1日農水省統計を使用



- ▶ 大切な人に、食べさせたい食べものとは…
  - 安全で美味しいもの

さらに、

子ども達世代へ国産の畜産物を残したい

- エシカル消費、SDGsへの貢献
- 持続可能な畜産の実践
- 持続可能な畜産物の調達

JGAPから始めてみませんか？





簡易版 (主に消費者向け)



詳細版 (生産者・食品事業者向け)

項目	内容	SDGsの目標と取り組み
食の安全	食の安全を確保し、消費者の健康と安全を確保する。農産物の生産・加工・流通の各段階で、食品の品質・安全を確保し、消費者の健康と安全を確保する。	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. 健全な食生活を実現しよう 8. 働きがい、経済成長、雇用 12. 持続可能な消費と生産 13. 気候変動に具体的な対策を 15. 陸の豊かさを保ち増進
環境	環境を保全し、気候変動に具体的な対策を。農産物の生産・加工・流通の各段階で、環境への負荷を減らし、気候変動に具体的な対策を。	13. 気候変動に具体的な対策を 15. 陸の豊かさを保ち増進 17. 持続可能なパートナーシップを促進
農業	農業を推進し、農村地域の持続可能な発展を促進する。農産物の生産・加工・流通の各段階で、農業の持続可能な発展を促進する。	2. 飢餓をゼロに 3. 健全な食生活を実現しよう 8. 働きがい、経済成長、雇用 12. 持続可能な消費と生産 15. 陸の豊かさを保ち増進
働く人	働く人の権利を尊重し、働きがい、経済成長、雇用を促進する。農産物の生産・加工・流通の各段階で、働く人の権利を尊重し、働きがい、経済成長、雇用を促進する。	1. 貧困をなくそう 8. 働きがい、経済成長、雇用 10. 人や国の不平等をなくそう 17. 持続可能なパートナーシップを促進

日本GAP協会のウェブサイトからダウンロードできます。

<https://jgap.jp/gap/>